令和７年度事業報告書

Ⅰ．法人の概要

口教育方針

教 育 方 針

使　命

生徒に夢と希望を与え、生きる力を育み
「自立した、社会に
貢献できる女性を育てる」

スローガン

The Creation of Character
個 性 創 造
— Change for the Better —

重点目標

1 基礎学力の向上
2 女性としての教養と
マナーの習得

やればできるは魔法の言葉
自分サイズの未来を拓く
チャンス・メーカー 好文学園

学校長　延原 観司

□学校法人の沿革

昭和 12 年 2 月(1937)	大阪商科女学校として大阪市福島区上福島西通に、実業家・臼谷吉五郎が私財を投入して創設
昭和 12 年 4 月(1937)	創立
昭和 19 年 3 月(1944)	文部省中学校令により財団法人設立許可、大阪福島女子商業学校と改称(修業年限 4 ヵ年)
昭和 22 年 3 月(1947)	中学校令改正により修業年限 5 ヵ年となる
昭和 23 年 4 月(1948)	学制改革により新制高校大阪福島高等学校となる
昭和 25 年 3 月(1950)	大阪工業高等学校(定時制)を併設
昭和 26 年 3 月(1951)	新法令による学校法人大阪福島学園認可
昭和 33 年 1 月(1958)	校舎類焼、現在地へ移転
昭和 35 年 4 月(1960)	大阪福島女子高等学校と改称
昭和 42 年 11 月(1967)	創立 30 周年記念式典を挙行
昭和 48 年 4 月(1973)	普通科併設
昭和 49 年 3 月(1974)	別館 1 号増築竣工
昭和 52 年 4 月(1977)	創立 40 周年記念式典を挙行
昭和 54 年 4 月(1979)	第 2 体育館竣工、テニスコート 2 面完成
昭和 60 年 3 月(1985)	別館 2 号竣工
昭和 62 年 4 月(1987)	商業科情報処理コース、普通科特進コース設置
昭和 62 年 6 月(1987)	別館 3 号竣工
昭和 62 年 6 月(1987)	創立 50 周年記念式典を挙行
平成元年 8 月(1989)	ホームステイ(アメリカ合衆国ユタ州)実施
平成元年 10 月(1989)	全国私学教育研究集会大阪大会商業分科会開催
平成 6 年 4 月(1994)	別館 4 号竣工
平成 7 年 8 月(1995)	弓道部インターハイ女子団体初優勝
平成 8 年 4 月(1996)	PLC アーミディル校姉妹校提携(オーストラリア)
平成 11 年 4 月(1999)	ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科に学科改変
平成 13 年 3 月(2001)	カナダ語学研修旅行実施(以降定期的に実施)
平成 14 年 4 月(2002)	情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ科(情報ｺｰｽ・ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ)、 普通科(総合ｺｰｽ・英会話ｺｰｽ・ﾃﾞｻﾞｲﾝ美術ｺｰｽ)に学科改変
平成 16 年 4 月(2004)	普通科に体育コース・保育コース設置
平成 18 年 4 月(2006)	情報ビジネス科募集停止 普通科に情報コミュニケーションコース設置
平成 19 年 4 月(2007)	創立 70 周年 マンガ・アニメーションコース設置
平成 20 年 4 月(2008)	好文学園女子高等学校に改称 特進選抜コース、標準進学コース、総合選択コース、 IT ライセンスコース設置
平成 20 年 9 月(2008)	新校舎竣工
平成 21 年 1 月(2009)	耐震化工事実施
平成 21 年 4 月(2009)	校庭の芝生化を実施

平成 21 年 4 月(2009)	変形労働時間制の導入と 36 協定一部締結、及び人事考課制度の実施
平成 22 年 4 月(2011)	36 協定全面締結
平成 24 年 4 月(2012)	財政改革 5 ヵ年計画(好文リバイバルプラン)スタート
平成 26 年 4 月(2014)	看護医療系進学コース設置
平成 28 年 3 月(2016)	学校隣接土地取得
平成 29 年 4 月(2017)	創立 80 周年祝賀会を挙行
平成 30 年 4 月(2018)	体育館、美術棟着工(新校舎)
平成 30 年 7 月(2018)	学校隣接土地建物取得(現セミナーハウス)
令和 元年 9 月(2019)	新校舎A3(体育館・美術棟)竣工
令和 2 年 5 月(2020)	テニスコート改修、クラブハウス竣工
令和 3 年 4 月(2021)	コース再編、「3 エリア 9 コース制」へ
	(総合進学エリア) 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア コース
	(キャリア進学エリア) 看護医療系進学、幼児教育、ITライセンス コース
	(メディア芸術エリア) メディアクリエイター、デザイン美術、マンガ・アニメーション コース
令和 6 年 4 月(2024)	別館 3 号、4 号外壁改修工事
令和 7 年 4 月(2025)	週 5 日制スタート(生徒、教職員)

□設置学科と定員 (令和7年5月1日現在)

科・コース	入学定員	収容定員	現員
全日制 普通科 9コース(※)	300名	1,200名	705名

※ 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア、看護医療系進学、幼児教育、IT ライセンス、メディアクリエイター、デザイン美術イラスト、マンガ・アニメーション

□役員の概要 (令和7年5月28日現在)

役員の定数 理事:5名以上8名以内、監事:2名以上3名以内 現員は以下の通りである。

理事長	延原 観司
理事	花田 守
理事	濱田 雄久(非常勤)
理事	福井 要 (非常勤)
理事	湯朝 哲朗 (非常勤)
監事	一瀬 満子 (非常勤)
監事	向 明美 (非常勤)

□評議員の概要（令和7年5月28日現在）

評議員の定数は、6名以上9名であり、現員は7名である。

□教職員の概要（令和７年4月1日現在）

専任教員	専任職員	非常勤教員等	教職員合計
29名	3名	39名	71名

Ⅱ．事業の概要

□法人運営

①　収支均衡バランス

令和 2 年「新校舎整備事業」が完了し、当面大規模な施設設備の計画がないため、令和 7 年度も収支均衡バランスを考慮し支出を抑制した態勢をとることができた。

資金収支については、入学生が 241 名と前年比 9 名増加したが、在籍者数が 705 名と前年比 54 名減でのスタートとなりましたが、経費等の圧縮に務め、賞与を前年維持した上で、翌年度繰越支払資金 1,099 百万円（前年比 73 百万円増）を確保した。

今後について、一定の生徒数を確保し、必要なる施設設備を除き、支出を抑制した収支均衡バランスのとれる態勢を構築する。

②　施設設備等の充実

・芝生グランドの潅水設備の自動化。
・本館エントランス照明、別館 1 号 1 階ロビーと階段の照明、別館 3 号 2 階照明の LED 化。
・A3 サブアリーナにクリアミラーを設置。
・A3 アリーナ 2 に切り文字サインを取付。
・サーバー室のエアコンの更新。
・業務用 PC6 台購入。
・本館 1 階レストラン前に庇テントを取付。
・別館 4 号エレベーター2 基更新。
・別館 1、2 号前受水槽の改修。
・本館 1 階男子トイレ更新。
・別館 4 号 3 階進路指導室の間仕切を設置。

③　勤務体系

・週 5 日制スタート

・人事考課制度に基づく給与反映継続（16 年目）

・特別賞与制度導入 6 年目。

・1 年単位の変形労働時間制継続実施（年間労働時間 1,925.5 時間）

・36 協定締結継続

等により、さらなる労働環境整備とやりがいある職場づくりを進化させた。

□学校運営

① 生徒募集

令和8年度の入学生は239名（留学生8含めず）。専願者は227名で、対目標△23名。

受験者数は404名で、対目標△46名という結果となった。

令和7年度の専願者の204名より増加したもの併願者数の大幅な減により目標値には届かなかった。

今年度の宣伝広告では、インターネット(SNS)での生徒募集活動予算をさらに組み込み運営(Instagram、TikTok)しており、今後広がっていくと期待している。

また、インターネット(SNS)の普及により、電話・ミライコンパス(資料請求)での問合せ者数は毎年減っている。

オープンスクールの参加者数は、1,330名で昨年比△140名の減となった。対策として、今年度の外部説明会への参加回数を増やし、オープンスクールへの参加につなげたいと考えている。

また、出前授業については昨年と同様に、85件とたくさんの依頼があった。

私学の授業料無償化(補助)の中で、併願の受験数と戻り率の減少が進み、さらなる専願での獲得が必要であると考える。

②　生徒指導

・諸規定について

令和5年度に見直した諸規定を校内の規範として、身嗜みを含む学校生活の規準を定めた。年度途中ではあったが生徒や保護者の要望等も考慮して、一部を変更するなどの対応をおこなった。今後も良識と常識に相応しい諸規定になるよう検討していく。

・マナー、学校生活面での指導

学校生活を送るうえで、改善を求めた生徒（イエローカードによる指導）は 28 名となった。スマートフォン使用についての指導が大半を占めた。

懲戒処分となった問題行動は 15 件発生した。例年は SNS による問題行動が中心であったが、本年度（令和 7 年度）は 0 件となった。SNS 教室の実施については今後も更新しながら継続していく。

・いじめに関するアンケートについて

6 月と 9 月に 2 回実施した。アンケート結果から、学年の教員が数名の生徒に事情を確認した。些細なことも聞き取れるように丁寧な対応をおこない完結した。

・感染症の予防

保健だよりの発行や保健委員会での手洗い・換気励行のﾎﾟｽﾀｰ作成・掲示を実施した。

学級閉鎖がなく、感染症拡大防止の成果が見られた。
・避難訓練の実施　4月・9月実施

③ 教務部

昨年度は、授業評価や観点別学習状況の評価を活用した振り返り、ならびに公開授業の実施を通して、授業方法の改善・工夫に継続的に取り組んだ。特に、iPad を活用した授業が定着し、生徒に思考を促し、発表やグループ学習を取り入れるなど、観点別評価に資する授業展開を推進した。

また、学力向上に向けて、生徒および教員を対象としたアンケート調査を実施し、その集計結果を分析。課題を明確化したうえで「学力向上委員会」を立ち上げ、今後の具体的な取り組みについて協議を行った。

教科ごとの専門的な研究としては、大阪府教育課程協議会に各教科の代表が参加し、観点別評価に対応した学習方法の研究を深める機会となった。

昨年度より、3 学年の学年末考査を廃止し、各教科において高校生活の集大成となる取り組みを工夫して実施した点も特徴的である。

ICT 活用の面では、校内システム「BLEND」の活用が定着し、出欠状況や成績の管理がスムーズに行えるようになり、生徒指導にも有効に機能している。

キャリア教育においては、「キャリアパスポート」の取り組みを通じて、生徒が自己理解を深め、将来の目標を具体的に描くことができるよう支援した。これにより、生徒の主体的な進路選択や学習意欲の向上にもつながっている。

口施設設備の状況

所在地	施設等	面積	取得価格	帳簿価格	摘　要
大阪市西淀川区千舟3-8-22	校　地	13,955 ㎡	193,836 千円	193,836 千円	
	校舎 6 棟等	14,611 ㎡	4,210,077 千円	2,159,225 千円	

Ⅲ. 財務の概要

□令和7年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

□経年比較

①貸借対照表

（単位　千円）

項目	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末
固定資産	3,069,822	2,983,136	2,876,524
流動資産	1,041,632	1,090,666	1,183,768
【資産合計】	4,111,454	4,073,803	4,060,293
固定負債	47,325	42,610	44,596
流動負債	149,042	138,206	105,702
【負債合計】	196,368	180,816	150,298
基本金	4,735,965	4,737,069	4,744,248
繰越収支差額	△820,879	△844,082	△834,253
【負債･純資産　合計】	4,111,454	4,073,803	4,060,293

②事業活動収支計算書

（単位　千円）

項目	令和5年度	令和6年度	令和７年度
教育活動収入計	832,005	778,287	746,495
教育活動支出計	760,611	806,459	733,470
（教育活動収支差額）	71,394	△28,172	13,025
教育活動外収支差額	17	832	3,734
（経常収支差額）	71,411	△27,340	16,760
特別収支差額	761	5,241	248
（基本金繰入前収支差額）	73,162	△22,099	17,008
基本金組入額	△25,846	△1,104	△7,179
（当年度収支差額）	47,316	△23,203	9,829
（翌年度繰越収支差額）	△820,879	△844,082	△834,253